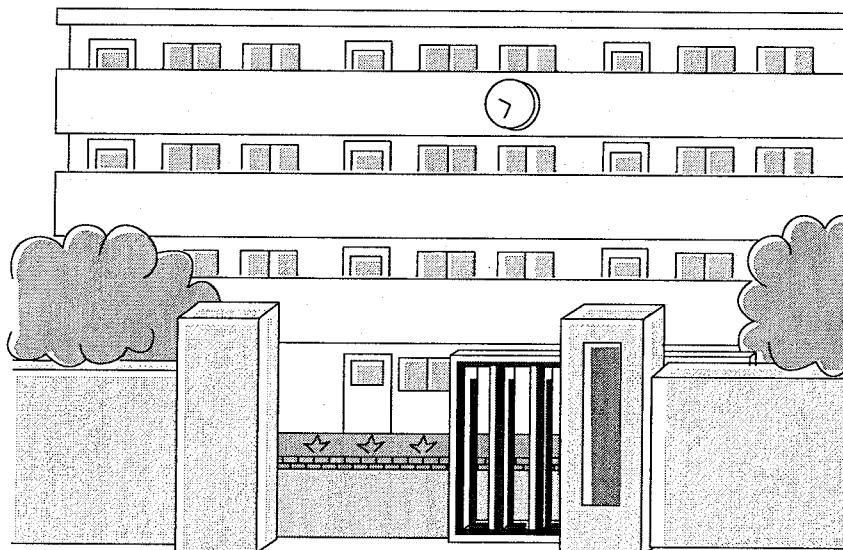


新生・渡波中学校

新設準備委員会

～夢のある楽しい学校の創造を目指して～



石巻市立渡波中学校

渡波中学校新設準備委員会要綱

第1条 渡波中学校新設を推進するにあたり、基本的な方針について、広く意見を聴取するため、校内に渡波中学校新設準備委員会（以下「準備委員会」という。）を設置する。

（組織）

第2条 準備委員会は、以下の別表をもって組織する。

- 1 準備委員会に委員長及び副委員長を置く。
- 2 委員長には、校長を副委員長にはPTA会長・副会長をもって充てる。
- 3 委員長は、準備委員会の会務を総理し、準備委員会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐する。
- 5 委員長は、必要があると認めたときには会員以外の者の出席を求め、意見及び説明を求めることができる。

別 表

委員長	校長
副委員長	PTA会長、副会長（2名）
構成員	教頭、事務長（主事）

（会議の招集）

第3条 準備委員会は、委員長が招集する。

- 1 準備委員会は、必要に応じて関係者の出席を求め、意見または説明を聞くことができる。

（設置期間）

第4条 準備委員会の設置期間は、施行日からその目的を達成したときまでとする。

（事務局）

第5条 準備委員会の事務局は、渡波中学校に置き教頭が庶務にあたる。

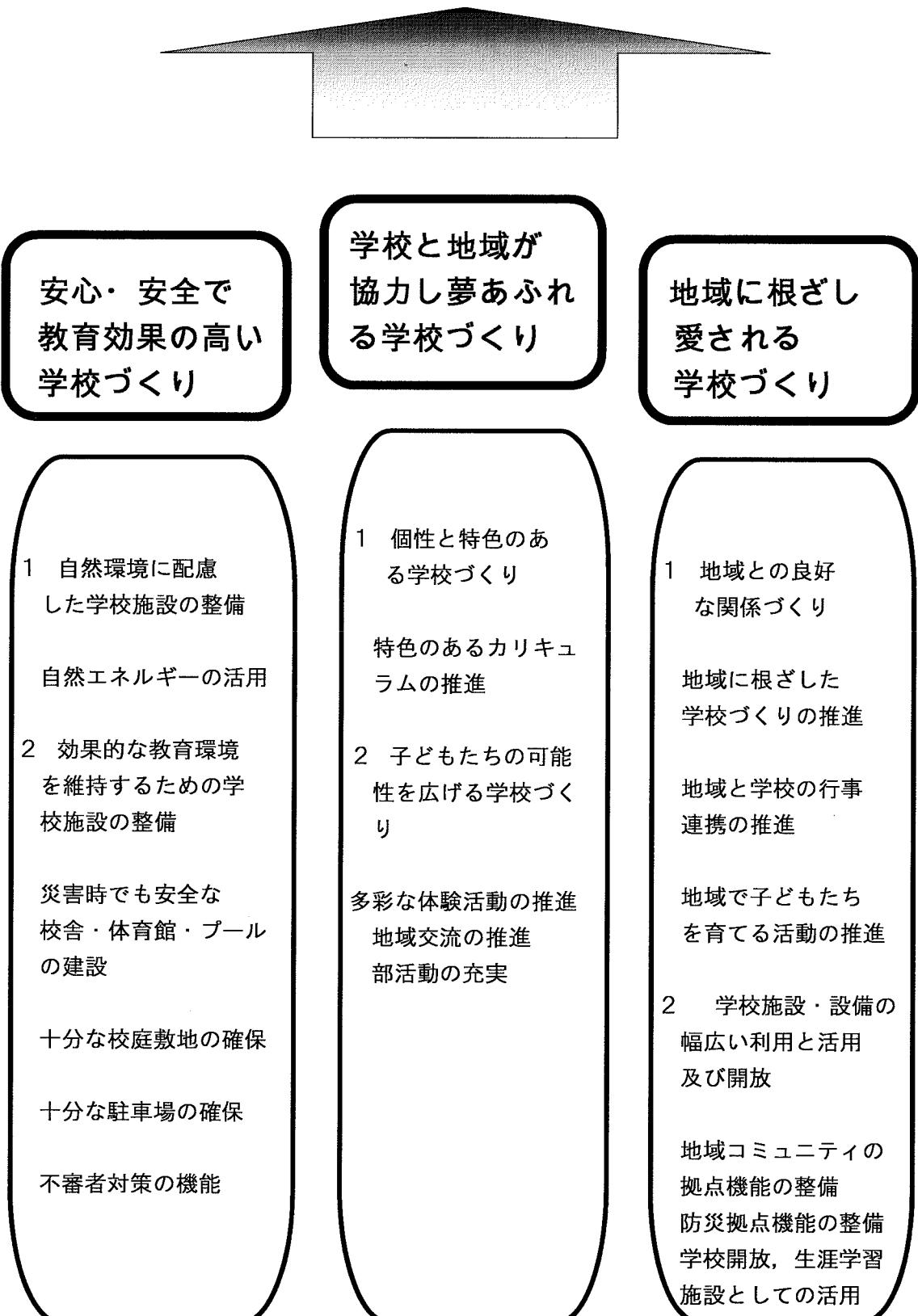
（その他）

第6条 準備委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附則

この要綱は、平成24年11月1日から施行する。

夢のある楽しい学校の創造



安心・安全で教育効果の高い学校づくり

1 自然環境に配慮した学校施設の整備

- ① ソーラー発電機等の自然エネルギーを活用し、環境にやさしく、災害時に強い学校づくりの推進。

2 効果的な教育環境を維持するための学校施設の整備

- ① 校舎

- 2階以上での教育活動のスペースを確保した構造。

- ・ 2階を玄関・昇降口として、1階には出入り口を作らない構造。
- ・ スロープで2階玄関まで上がる構造。
(車いす対応及び緊急搬送等)
- ・ 浸水を防ぐ。
- ・ 不審者対策の機能（進入経路を1カ所とした構造）
- ・ 災害時の職員室の機能を守るための構造

- 1階を空洞として、来客駐車場及び雨天練習場としての活用機能を備えた構造。

- 3メートル以上の広めな廊下と階段

- ・ 生徒や避難者の迅速な移動ができる構造。

- シンプルな校舎の構造。

- ・ 人員の把握、安全の確認、移動の安全性
- ・ 校舎は一直線的な構造
- ・ 転落防止の安全対策がなされ、ベランダは必要としない構造。

- 各階に多目的ホールを備えた構造

- ・ 学年集会等や災害時に避難した人たちの待避場所としての活用機能。

- ② 体育館・プール

- 体育館も校舎と同じように2階以上とした構造。

- 1階を駐車場及び多目的スペースとして活用できる構造。

- (校庭を駐車場として使用しない構造。)

- 2階を柔道・剣道場とした構造。（武道必修）

- 3階をフロアとした構造。

- (バスケットコート2面以上の広さ)

- ・2階を玄関ホールにして、地域開放に対応できるような構造。
- ・生徒は、校舎2階から直接移動できるような構造。
- ・浸水を防ぐ。
- ・不審者対策の機能（進入経路を1カ所とした構造）

●体育館設備等

<暖房設備>

- ・社会体育等への開放及び災害時の際避難住民の健康への配慮。

<余裕のあるスペース>

- ・ギャラリーを広く取り、大会等で生徒や保護者及び地域住民が安全に応援できるようなスペースでランニングができる程度の広さ。
- ・器具庫を広くし用具の出し入れがしやすい構造。
(社会体育及び地域住民に開放した場合)
- ・体育教官室及び準備室を備えた構造。
(電子器具及び備品等の整理・ミーティング・スタッフルームとしての機能)

●プールへも体育館から直接移動できるような構造。

- ・プール1階には各部の部室を設け校庭を最大限に有効活用。

③ 校 庭

部活動や放課後の活動の充実を考慮し、校庭の広さを十分に確保。

地域の拠点としての活用などを考慮し十分な広さの駐車場の確保。

校庭を広く有効活用するために駐車場を校舎外部に作らずに、校舎1階を空洞にして駐車スペースを作る。

校庭を駐車場として使用しない構造。

地域に根ざし、愛される学校づくり

1 学校と地域の良好な関係づくり

- ① 学校新設において、地域の意向を十分に反映させた地域の学校としての学校づくりの推進。
 - ・地域、まちづくりの拠点となる学校
 - ・学校評議委員との連携
 - ・民政児童委員との連携
 - ・行政区長との連携
- ② 地域と学校の行事や活動を連携させ、地域に根ざした学校づくりと郷土愛溢れる人材育成の推進。
 - ・松林バザーの開催
 - ・地域住民との合同運動会の開催
 - ・地域と学校が一体とした文化祭の開催
- ③ 地域ぐるみで生徒を育てる取組として、協働教育の推進。
 - ・総合的な学習の時間を有効活用し地域の産業等での体験学習
 - ・地域で子どもたちを育てる活動の推進

2 学校施設・設備の幅広い利用・活用

- ① 地域のコミュニティー活動の場
 - ・地域のコミュニティーの拠点となるために公民館等の機能をもった一体型施設の整備
 - ・地域住民の生きがいづくりや学びの場の整備
 - ・学校開放など生涯学習施設としての活用機能の整備
- ※特に体育館においては1階の一部をコミュニティー的な役割に重点を置き地域での管理・運営

●体育館

- ・1階の一部に公民館機能を備えた施設を設置して地域住民の活動の場を整備
(集会機能・図書館機能等備えた多目的施設)
- ・1階の一部を駐車場及び多目的スペースとして活用できる構造。
(ゲートボール場等として活用)
- ・2階を玄関ホールにして、地域開放に対応できるような構造。

<余裕のあるスペース>

- ・ギャラリーを広く取り、解放時のレクリエーション等で地域住民が安全に観戦、
応援できるようなスペース及びジョギング等が余裕をもってできる程度の広さ。
- ・器具庫を広くし用具の出し入れがしやすい構造。
(社会体育及び地域住民に開放した場合)
- ・体育教官室及び準備室を備えた構造。
(電子器具及び備品等の整理・保管、ミーティング及びスタッフルームとしての機能)

<暖房設備>

- ・社会体育等への開放及び災害時の際避難住民の健康への配慮。

●プール

- ・体育館の屋根にソーラー発電システム等の自然エネルギー装置を整備し、蓄熱効果で温水プールを設置して地域に開放し最大限に有効活用。
(海水浴場及び市民プールも利用できない状態)

●テニスコート

- ・放課後と休日しか使用しないテニスコートを平日の日中地域に開放し最大限に有効活用。

●図書館

- ・学校の図書館を整備して平日の日中地域に開放し最大限に有効活用。
- ・公民館機能備えた施設への貸し出し。

② 防災拠点としての場

- ・災害時には利用可能とするために、ソーラー発電蓄電池などの非常時電源設備や救援物資、資財の備蓄。

学校と地域が協力し夢あふれる学校づくり

1 個性と特色のある学校づくり

- ① 地域産業や文化、歴史などを取り入れたカリキュラムづくりの推進。
 - ・志教育の推進
 - ・総合的な学習の時間の充実

- ② 震災で被害を受けた子どもたちの心のケアを中心とした活動の推進。
 - ・学校環境を整備することにより子どもたちにとって安心安全な環境づくりの充実
 - ・地域及び各種団体と連携しての子どもたちの心のケアの充実

2 学びの可能性を広げる学校づくり

- ① 中学校期における様々な体験が、将来の進路に大きな影響を与えることが多くできるだけ多彩な体験の機会を提供できる学校づくりの推進。
 - ・地域産業、文化に触れる職場体験学習及び職場見学の充実
 - ・幼稚園、小学校、福祉施設等と連携した世代間交流の機会の充実

- ② 学校を地域の中心として、文化・スポーツ等で有効活用することにより教育効果を高めるための学校づくりの推進。
 - ・地域合同運動会の開催
 - ・地域合同の文化祭の開催

- ③ 部活動を充実させ、心身の成長をうながすための学校づくりの推進。
 - ・社会体育との交流スポーツ大会
 - ・地域指導者を招いての部活動指導及び交流等の充実
 - ・学校開放を充実させ地域、学校一体となった活動の推進
 - ・社会体育を有効活用することで教育効果を高めるための指導の充実